

平成24年調査結果の分析の視点について

(1) 平成19年調査時の分析の視点

平成15年調査と比較して、高齢のホームレスの割合の増加及び長期間野宿生活をしている者の割合が増加していることが確認されたことから、以下の視点を軸に分析を行った（主な分析は①、②について行った）。

- ①野宿経験別（「新規参入層」、「長期層」、「再流入層」）
- ②制度利用別（「制度利用なし」、「巡回相談、その他支援のみ利用タイプ」、「自立支援センター等活用型（再路上型）」）
- ③年齢階層別
- ④収入階層別
- ⑤地域区分別
- ⑥地域移動タイプ別

(2) 平成24年調査における新たな分析の視点

第1回及び第2回の検討会で出された、平成24年調査での分析の視点となりうる事項

- ①障害の状況
- ②病気と貧困
- ③大都市と地方都市の比較
- ④ホームレスの居住状況（定住・移動型等）
- ⑤ホームレスとなるおそれのある方の状況